

## オーストラリアの金利引き下げについて

2013年5月8日

5月7日(現地時間)、オーストラリア準備銀行(中央銀行)は、金融政策決定会合において政策金利を0.25%引き下げ、それまでの過去最低水準だった3.0%から2.75%としました。政策金利の変更は昨年12月以来、5カ月ぶりとなります。

## 《政策金利引き下げの背景発表》

オーストラリアの景気回復は依然緩やかです。オーストラリア準備銀行は、2011年後半以降金融緩和基調を維持してきましたが、金融緩和の効果は世界的な景気減速もあり十分な効果が得られていないとし、5月7日(現地時間)に政策金利引き下げを行いました。

## 《今後の見通し》

## ●政策金利

今回の利下げにより、オーストラリアの政策金利は過去最低水準を更新して2.75%となりました。利下げ後の金利水準は景気刺激に十分なレベルに達しているとみられ、2011年後半以降続いている金融面からのサポートにより金利に敏感なセクターへの好影響も出始めています。このため同準備銀行は当面、利下げ効果を見守ると思われ、市場金利も当面はレンジ内での動きになると予想されます。

## ●景気

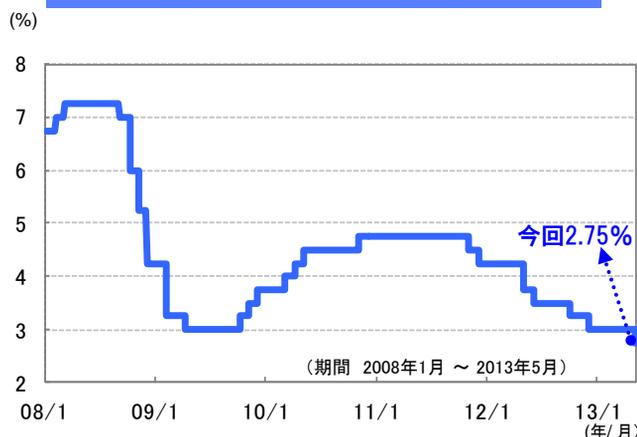
オーストラリアは、2012年通年ではほぼ成長トレンド並みで成長していましたが、2013年にかけては減速がみえ始め、緩やかな景気回復過程にあるとみられます。同国経済を牽引してきた資源開発投資にも頭打ちの感がみられますが、金融緩和の恩恵により、個人消費の力強さ、住宅投資の底堅さ、資源以外への投資の増加が開始しており、今後の景気回復を牽引するセクターとして期待されています。

## ●為替見通し

オーストラリアドルは、今回の予想外の利下げにより下落しましたが下値は限定的と予想されます。他の先進国と比べて金利水準が高いこと、同国の国債格付がAAAと信用力が高いことなどから、投資先としての魅力は依然高いと考えられます。主要先進国の金融緩和が当面続くことを想定すれば、資金流入も期待でき、今後も底堅く推移すると考えられます。ただし、オーストラリアドルがやや買われ過ぎとの見方もあるため、その点についてのリスクは認識する必要があります。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 《オーストラリアの政策金利》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

## 《オーストラリアドルの対円推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成